

地区 SA だより

◆SA藤井寺

活動報告

大川正彦

S A 藤井寺では 2006 年活動計画（毎月第二木曜定例会）の中「S A 藤井寺」単独活動でなく藤井寺市（行政）との連携を模索、藤井寺社協との連携の中、社協が支援する藤井寺市ボランティア連絡会（11 団体）に加入し、活動を共にしています。以下に事例を報告します。

『藤井寺ボランティア協議会会員

としての活動』

- 1) 藤井寺「ふくしまつり」との連動
 - ・ 11 月 12 日（日）藤井寺市民会館、福祉会館で 2000 人以上の参加で藤井寺「ふくしまつり」が開催されました。我々 S A 藤井寺も開催に連動、別会場（市民体育館）で健康増進のテーマ、ディスコン第 2 回藤井寺ディスコン大会を開催しました。
 - ・ 藤井寺市民高齢者の健康増進・市民障害者の健康増進での社会貢献、参加者には好評で、またユニークな表彰は笑いを誘い、次回も参加のアンケートを多数頂きました。



- 2) イオングループジャスコ「幸せの黄色いレシートキャンペーン」参加
 - ・ 藤井寺市ボランティア連絡会団体としてキャンペーン団体登録申請。
 - ・ 各団体 PR と共に SA の主旨 PR を行い（毎月 11 日活動）、活動支援としてジャスコより、ボランティア助成（活動商品購

入助成）を頂く。



「イオン幸せの黄色いレシート」

- ・ 地元のボランティア団体をお客様と共に応援しています。



◆SA吹田

第 20 回リズム体操フェスティバルに参加

橋本一江

11 月 12 日私立北千里体育館で開催された催しに SA 吹田歌体操グループの内 4 グループ 163 人が参加しました。この催しは 3 歳児から 80 歳を超える大人まで幅広い年齢層の人達がジャズダンス、フォークダンス、フラメンコ、バレエ、体操等、日頃の練習成果を披露する華やかで楽しい盛大な市の行事です。

今回は 16 グループ総勢 700 人の参加でした。開会は 10 時からですが、開会時には出場する人、付き添いの人、応援の人、カメラを持った人など多勢、広い体育館は熱気に包まれていました。開会式に引続き全員の準備運動では指導の先生の身軽な動きに若い人達と同じ

ように、私達高齢者も負けずにリズムに乗って運動しました。参加者は多種多様です。今年初めて参加するグループ、出場回数 15 回目、18 回目のベテラングループ、本格的な学生のジャズダンスグループなどもあっていずれも趣向をこらして、最大限のパフォーマンスを披露する一生懸命の姿に感動しました。陽気な音楽にカスタネットとコルドベス（帽子）を使って踊るソフトフラメンコ、3 歳児から大人まで総勢 80 人のメンバーによるダンスはバレエの衣装にトウシューズを履き、とても綺麗で微笑ましい素晴らしい演技でした。私達歌体操 4 グループは各 2 曲ずつ元気一杯日頃の練習の成果を伸び伸びと発表することが出来ました。終了のエンディング体操では全員にバレエを指導していただき、私達もバレリーナになった気持ちで、間違いながらも楽しく踊りました。元気と若さをたくさんいただき楽しい一日でした。



“SA 吹田おもちゃづくり市民塾”のこと

丹羽史朗

SA 吹田おもちゃづくり市民塾は、平成 14 年 8 月に発足し 4 年半程経過しました。当時、吹田市が募集していた“まちづくり市民塾”に駆け込みで応募し、幸いにも市民塾の 1 期生として採用されたため、市と業務委託契約を取り交わし、16 年 3 月までに合計 44 万円の委託料をいただいて活動しました。したがって当初は「吹田市まちづくり市民塾おもちゃ塾」という名称でしたが、委託契約満了と同時に、SA 吹田のおもちゃづくりに関心のある方も糾合していこうと思い、SA 吹田を冠した「SA 吹田おもちゃづくり市民塾」に名称変更しました。

ちょうど小学校や公民館などで始めたおもちゃづくりが人気を呼び出し、次々とお呼びが掛かるようになって、これでは早晚人手不足になりそうだ。それなら一般市民の中で興味を示される方に教え、その人たちがご自分の地域のイベントなどで活躍されるまでに育てていただくと同時に、我々のイベントに助っ人として来ていただけたらと、一石二鳥の効果を狙ったものです。

現在は毎月 1 回第 2 土曜日の午前、北千里公民館の会議室で、毎回一つずつおもちゃづくりを勉強しています。世代間終了の方たちを中心にしながら、それ以外の方でも得意技があれば講師をお願いする。ある日は先生で、ある日は生徒になって、すでに 50 を越えるおもちゃづくりをマスターしています。

10 数塾ある市民塾の中では最も成功した塾の一つで、市長に気に入っていただき、今年初登庁の日の景気付けに、市役所のロビーで凧あげをしてほしいとの依頼があり、あげるまでは出来ないけれど、作るだけならということで、ぐにゃぐにゃ凧を用意し、10 時から 12 時まで、入れ代わり立ち代りの子どもたち約 30 名に教え、あげ方の要領を説明して喜ばれました。近くレシピ集を発刊したいと思っています。(SA 吹田おもちゃづくり市民塾長 記)



◆SA高槻

(社) アジア協会アジア友の会 (JAFS) 高槻ぞうすいの会に SA 高槻が協力

島貫清司

「JAFS ぞうすいの会」とは、アジアの様々なお話を聞きながら、質素な雑炊を 1 回の食事にすることによって、自分達の過食や健康を見直し、あわせて普通食との差額を少しずつ基金として貯め、アジアの飲料水の確保に困っている人々に、井戸を贈る資金に当てようとするものです。誰でも出来る国際協力の一つです。

この様なイベントに、JAFS 会員である SA 高槻国際 14 期の西川龍夫と 18 期の島貫清司が、企画から運営まで参加し、おおきな成果



を上げることが出来ました。

当日はインドをとりあげ、インドカレー雑炊とインドのお菓子を食べながら、『インドの母親を大切にする』というお話を、JAFS



理事の大麻豊氏より頂き、パフォーマンスとして、SA 国際 18 期のコーラスグループ♪ハーモニー・シー♪及びマジック同好会の皆さんによるマジックショー、更に JAFS 会員による銭太鼓の実演など、大いに会場を沸かせました。また、たまたま JAFS 本部に訪問中のカンボジア政府高官 2 名も来場され、これまでの井戸の寄贈に対する感謝の言葉と記念品を頂きました（10 月 21 日 於神峰山寺本坊）。

今後とも、この様な地道な活動を通じて、高槻からカンボジアに、出来るだけ早く第 1 号の井戸を寄贈できるよう頑張っていきたいと思っています。今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆SA 富田林

まわった 500 本のかざぐるま

小田まち子

勤労感謝の日、予報とちがって、雨が降り出したのは夕方でした。本当に良かったです。助かりました。というのは…… 8 枚羽根かざ

ぐるまは、雨に弱いからです。もし降り出せば、かざぐるまは中止しよう、他のおもちゃ作りに切り替えようと決め、一応その準備して、石川河川敷グラウンドの会場へ出向いたものでした。ふれあい祭り、農業祭商工祭も合わせた市挙げての最大のイベントへの参加でした。



今年も色鮮やかなかざぐるまが、あちこちいっぱい回り、それはそれは見事な風景でした。ちょっとした“和”のやさしい雰囲気作りには貢献できたのでは？と自負しているのです。その数 500 本。8 人の会員と助っ人 1 人（会員の妹）の 9 人で。（準備は 3 名で）今年で 10 回目の参加でした。ずっとかざぐるま作りにこだわり続けているのです。

知恵を絞った挙句に、8 枚羽根かざぐるまに落ち着き、中心に据えています。今ではもうふれあい祭りの“華”だと褒めてもらうまでになりました。ちょっとした人気を博すまでに成長を遂げました。地味だけれど着々と SA の歴史を作ってきているわけです。少人数だけれど「継続は力なり」を実証でき、ありがたいことです。

相当なおじいさん、おばあさんも興味ありげに覗いてくれました。昔を思い出してくれたのでしょうか。埋もれていた記憶が遠くから帰ってきたのでしょうか？ 童心をよみが

えらせてくれたのでしょうか。暖かいねぎらいの言葉を掛けて下さいました。嬉しいことでした。

500本。相当くたびれました、でも子供達の嬉しそうな顔を見たら大満足。子供達の心にちよっとだけでも、やさしさを吹き込んであげられたんだという感動です。また来年も参加しようという気持ちが湧いてきました。

◆大阪市 SA

大阪市 SA 連協だより

上島三郎

新年あけましておめでとう御座います。

本年も「ボランティア活動」の原点を探りながらより一層の努力重ねる事を誓って1月5日恒例の新年会を中央区釣鐘倶楽部で開催しました。今年から特にお世話になります大阪市いきいきエイジングセンター常務理事兼大阪市老人クラブ連合会事務局長小谷史郎様を来賓招待し、参加者40数名で楽しく交流を深めました。特に歌体操グループ梶山さんのご協力で一同が輪になって歌と健康体操で明るい雰囲気のうち終了しました。尚今後の行事予定としまして、

- 1) 2月23日 13:30～
(いきいきエイジングセンター)
各ブロック毎活動報告会
- 2) 4月6日
(いきいきエイジングセンター)
大阪市 SA18 年度総会及び
第3回大阪市 SAまつり

を開催致しますので奮ってご参加を御願い致します。

◆SA守口・門真の会

「ハッピーでハッピー」

武田キヨ子

12月14日「連協歌体操まつり」に16名で参加出演しました。このうち7名の方達は会員ではありません。昨年9月に門真市広報で呼びかけた一般公募に応募された方達です。一回限りの歌体操体験教室の予定でしたが、応募者が多く続けてとの要望に、毎月1回教室を開くことになりました。

毎回楽しく取り組んでおります。これに呼応するように、「連協歌体操まつり」出演募集

のお話がきて出演者人数の関係も有り、応募された方たちに話したら、喜んで参加するとの賛同を得ました。曲は「ソーラン節」と決まり、では揃いのハッピーでも着てという事になりました。会長、リーダー共に季節外れのハッピー20着分を求めて、日々の活動に倍するご苦勞をお掛けする事になりました。

数回の練習を重ねて当日を迎え、揃いのハッピー着て会場の皆さんと一体となり、楽しく元気にソーラン節がお披露目出来ました。



歌体操まつり参加者全員

まだ3年目の会ですが、それぞれ力を出し合い良い経験となりました。地域での活動も定着していますが、なお前進するためにも介護予防やリハビリのための歌体操を広げていけたらと思います。新しく入会される方もいて歌体操のリーダーとして着々と力を付けており、共に学び、又新しい事も教えて頂きながら切磋琢磨し、自分の地域にしっかり根付いたボランティア団体として、成長して行く様にと願っています。